

# 森のちやれんがニュース

## 2022 秋

Newsletter vol.29



### 第8回特別展

### 「世界の昆虫 ―昆虫を通して、生き物の多様性を知る―」開催

日本中の博物館、大学、および個人は、世界中の昆虫標本を蓄積し、「日本は世界有数の昆虫コレクション大国」と言われます。本展は、世界各国から集められた10万匹を超える昆虫標本を特別公開し、標本や生体展示を通して、自然界の不思議さや多様性を紹介しました。展示場入口に設置されたミヤマクワガタなどの約7体の「巨大昆虫模型」や標本箱に綺麗に収集・保管された各コレクションはとてつもなく迫力があり、多くの来館者を圧倒しました。また、昆虫を収集した“ひと”に注目し、昆虫の採集法や昆虫食についても

紹介しました。

昆虫研究の専門家を招いた講演会やワークショップも多数開催され、様々な昆虫の側面を感じていただけたと思います。(学芸員 久保見幸)



藤岡コレクションの昆虫標本

### CONTENTS

- ② **収蔵資料紹介**  
窓鋸：目立ての動画記録とスケッチ体験
- ③ **総合展示室の資料紹介・1テーマ**  
オムシャのジオラマ
- 研究活動紹介**
- ④ 昭和期のホームムービー  
―菱昌七関係記録資料より―
- 総合展示室 活動報告**  
楽しい「昆虫クイズラリー」に挑戦！
- ⑥ **第3回蔵出し展 開催予告**  
久保寺逸彦文庫  
―アイヌ文学研究者による  
調査と資料をとおして、時代をさぐる―
- アイヌ民族文化研究センターだより**  
アイヌ文化巡回展  
⑦ 釧路町で開催しました(9月)  
／伊達市で開催中(9月～11月)
- ⑧ **活動ダイアリー**  
2022年6月～8月の記録



## 資料紹介

## 窓鋸：目立ての動画記録とスケッチ体験

青柳 かつら

研究部生活文化研究グループ 学芸主査

## 優れモノの鋸「窓鋸」

林業用の鋸には、木を伐り倒したり、丸太を作るのに使う天王寺鋸といった「横びき鋸」、板や柱を作るのに使う木挽き鋸といった「縦びき鋸」があります。

横びき鋸の1つである、窓鋸(写真1)には、木材を切断する歯の後に、鋸屑をかき出す鬼歯、鋸屑の目詰まりを防ぐ窓(くぼみ)がついています。北海道では昭和20～30年代に普及しました。

窓鋸は、それまでの鋸と比べ、鋸の押し引きが軽くなり、硬い木がよく伐れる長所がありました。この長所を活かすため、窓鋸は、次第に窓の数が増え、その歯は、6～8枚抜き(窓が歯の6～8本間隔につけられる)、4枚抜き(同4本間隔)、2枚抜き(同2本間隔)へと進化しました。

## 目立ての技術を動画記録する

鋸はたくさん使うと押し引きがしづらくなり、目立て(手入れ)が必要です。朝日郷土資料室、そして同室ボランティア「知恵の蔵運営委員会」のメンバーである、かつて山子(杣夫)として伐木作業をした経験者の協力を得て、窓鋸の目立てを動画記録しました。再現では以下の4つの工程を記録できました。

①天づくり：歯の高さを揃える、②すり込み：脇目を研ぎ、歯を大きく変える、

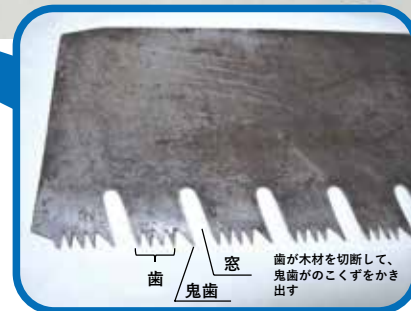


写真1 窓鋸(4枚抜き)とその部分

③頭を研ぐ：上目をすり落とす、④あさり出し：歯を左右に振り分ける

経験者への聞き取りから、目立ての技術の善し悪しは、伐木の仕事のはかどりに大きく影響したとわかりました。

製作した動画は、地元住民や中学生が参加する学習会で視聴したほか、2021～22年度、道北地区巡回展「探してみよう！ 地域のお宝」の展示資料としても活用しました。



※鬼刃と表記されることもあります。

## スケッチをしてみよう！

さらに、林業や建築の道具に関する知識を普及したり、博物館資料を詳しく観察して絵として表現する体験を提供するため、今夏6月12日ちやれんがワークショップ「北海道の林業と建築の道具—スケッチをしてみよう！—」を開催しました。スケッチには、絵を描く人が面白いと感じた点を、メリハリをつけて詳細に描ける良い面があります。講座では、窓鋸をスケッチの題材の1つとしました。

スケッチでは、参加者は、窓鋸の窓や歯の数を数えたり、「これは会津だ」「山形県だ」等と、製作地や製作者の名前が記載された「銘」を細かく観察したりしました。講座の感想では、「スケッチの前に鋸の目立ての映像を見たことで、鋸の歯を細かく観察できた」「鋸の歯の大きさが皆違っていた。きれいなV字ではなく、小さな歯や形が崩れている歯があったのでそれを絵にした」「鋸の重さ、鋸板の鉄の質感を感じたのでそれを絵にした」といった声も挙がりました。

こうした活動を通じて、林業資料の情報蓄積と活用を図っていきたいです。



写真2 窓鋸の目立ての再現



写真3 窓鋸のスケッチの様子



## 総合展示室の資料紹介・第1テーマ

## オムシャのジオラマ

東 俊 佑

研究部歴史研究グループ 学芸主査

総合展示第1テーマ「北海道120万年物語」では、北海道に暮らした人びとの19世紀までのあゆみ（歴史）を紹介しています。このなかにオムシャという儀式の様子を再現したジオラマを置いています。

オムシャとは、以前に出会った人に再会した際に物を贈り合うアイヌ民族のあいさつの儀式が変化したものとされています。江戸時代の前期にあたる17～18世紀のオムシャは、交易のために蝦夷地のアイヌ民族の村を訪れる松前藩士とアイヌ民族が行う儀式でしたが、江戸時代後期の19世紀には、アイヌ民族が守らなければならない法度や決まりごとを和人（松前藩や本州の人びと）が一方向的に読み上げ伝える政治的儀礼になったとされています。

総合展示室にあるジオラマは、北海道開拓記念館が1992（平成4）年に常設展示をリニューアルした際に制作したものです。オムシャとはどんな儀式なのかを一目で理解できるので、2015（平成27）年4月の北海道博物館のリニューアルに際しても、設置場所を移動し、見る高さを低くし、引き続き展示しています。

このジオラマは、1808（文化5）年にサハリン（樺太）のクシュンコタンという場所で、会津藩が執り行ったオムシャの様子を再現したものです。会津の画家・遠藤香村が描いた『蝦夷実景』という絵巻物の中の絵画を元にしてい

ます。ただし中央の建物は、旧下ヨイチ運上家（国指定重要文化財）を参考に再現しています。

1806～07（文化3～4）年、ロシア船がクシュンコタンやエトロフ島の和人関係者の建物や船、アイヌ民族の家や庫などを襲撃し、家財道具や武器・防具、古文書などを接収したうえで焼き払う事件が起きました（フォストフ事件、文化露寇などと呼ばれています）。この事件を受け、江戸幕府は会津藩にサハリン（樺太）、仙台藩にエトロフ島の警備を命じました。1808（文化5）年のオムシャは、会津藩の軍勢約700名がクシュンコタンへ押しかけ、物騒がしい雰囲気の中で執り行われたものでした。

周囲に会津葵の紋を入れた幔幕を張り、鉄炮や弓矢、甲冑や旗指物などを並べ飾り、藩士が威儀を正して居並ぶ情景は、「武威」を演出していて非常に威圧的です。建物の前に横一列に並ぶ7人は村の長老たちで、真ん中の最長老と思われる人物は黒の羽織、その他の長老たちは色鮮やかな和製の着物を身につけています。この着物は、和人が長老たちに与えたものです。

長老たちの前に置かれているのは、酒樽、タバコ、刀の鍔や刀身です。右側には大勢のアイヌの人たちが座り、そのまわりには山積みされた米俵や酒樽が置かれています。オムシャとは、和製品をアイヌの人たちに振る舞う儀



酒樽、タバコと鍔・刀身

式でもありました。

年代が降ると、オムシャは「夏ヲムシヤ」や「秋味ヲムシヤ網卸御祝儀」などの名称で年に数回執り行われる蝦夷地各場所の年中行事の一つとして、漁事の際の慰労的色彩の強い儀礼となります。オムシャを主催するのは、各場所の経営を任されていた商人（場所請負人）の配下の者たちで、その拠点施設である運上家や会所でした。「通詞」と呼ばれるアイヌ語通訳が、幕府の定めた法度を読み上げ、アイヌの人たちに言い聞かせるのは相変わらずのお約束事でしたが、その後に催される酒宴の方がオムシャのメインイベントでした。

これまでアイヌ民族の和人に対する政治的な服属儀礼の側面が強調されてきたオムシャですが、場所請負制下のアイヌ社会に関する古文書の研究などが今後進むと、見方・捉え方が大きく変わってくる可能性があります。



オムシャのジオラマ 総合展示第1テーマ「北海道120万年物語」の「3 蝦夷地のころ」より

## 研究活動紹介

昭和期のホームムービー  
—菱昌七関係記録資料より—

三浦 泰之

研究部歴史研究グループ 学芸主幹



1974年、静岡県生まれ。日本近世史を専攻した学生時代は、京都府北部の丹後地方をフィールドに幕末維新期の村落史を調査。1997年より北海道開拓記念館（現・北海道博物館）に学芸員として勤務。

「小型映画」(small gauge film)と総称される一連の映画フィルムがあります。一般的には、映画館で公開される商業用の劇映画で用いられた35mmフィルムよりも幅の狭いフィルム、つまりは16mm、9.5mm、8mmの映画フィルムのことを指します。撮影や映写が簡単で、劇映画のように大がかりなプロのスタッフは必要なく、映画館のような設備がなくても家庭で誰でも映写出来ることなどが特徴です。なかでも、昭和戦前期から戦後期にかけてホームムービーとして盛んに用いられたのは、9.5mm、8mmの規格でした。

当初主流だったのは1922(大正11)年にフランスのパテ社が開発した「パテベビー」に代表される9.5mmフィルムによる撮影・映写です。その後、1940年代から50年代にかけて8mmフィルム

ムがそれに代わるようになりました。そして、ビデオの開発など、映像技術の進展に伴って、1970年代以降、映画フィルムによるホームムービーの時代は終わりを迎えることになります。

当館の所蔵資料には、道民の皆さんから寄贈いただいた、ホームムービーとして撮影された映画フィルムも含まれています。ここでは、そのような資料の中から、昭和戦前期に札幌中心部の狸小路で「ダイヤ洋品店」を営んでいた菱昌七という人物にゆかりのホームムービーについて紹介します。

菱昌七(1898～1991)は富山県出身。5歳の頃、小樽に転居し、1913(大正2)年に量徳尋常高等小学校を卒業します。その後、兵役に入る20歳の時まで大阪の繊維店へ奉公に出て、兵役後は狸小路西3丁目にあったマルヨ大正屋

洋品店に勤めたといえます。そして、1934(昭和9)年11月に狸小路西4丁目にダイヤ洋品店を開業します。しかし、1944(昭和19)年には、家屋強制疎開の命によって廃業を余儀なくされ、札幌西部の円山に転居しました。その後、北海道興農公社、雪印乳業などへの勤務を経て、カメラ(写真も映画も)やフィルムの販売と撮影を主としたダイヤ商会を設立します。カメラ(写真も映画も)が趣味で、親戚が集まった際にはよくホームムービーの上映会をしていたこと、当時、ダイヤ洋品店やダイヤ商会といえば札幌のカメラ愛好家の間では有名であったことも伝えられています。

菱昌七にゆかりの方から寄贈された「菱昌七関係記録資料」は、ガラス乾板、ネガフィルムアルバム、8mmや16mmの映画フィルムなど、75件からなる資料群ですが、その内、8mmフィルムが、別表の通り、50件あります。ダイヤ商会の仕事として撮影されたと考えられる映像も含まれていますが、菱昌七または菱家の関係者によって撮影されたホームムービーが中心です。

年代的には1930年代から70年代にかけて、特に1950年代に撮影されたものが多く、撮影場所は主に札幌市内とその郊外です。内容的には、例えば、No. 3・5・6・21・25・27・34・40のように、ハイ

キングや餅つき、スキーなど、菱家の家族行事の記録が大半を占め、また、公区(戦前期の町内会的組織)や小学校の運動会(No.8・10)、札幌神社(現・北海道神宮)の神輿渡御(No.12)、



写真1 ダイヤ洋品店  
(菱昌七関係記録資料のガラス乾板より)



写真2 別表No.1より



別表 北海道博物館所蔵「菱昌七関係記録資料」にある8mmフィルム

| No. | 収蔵番号   | 資料名                                               | 年代              | 撮影者            | 備考           | 時間             |
|-----|--------|---------------------------------------------------|-----------------|----------------|--------------|----------------|
| 1   | 166197 | 昭和十年 冬の宣伝 狸小路聯合／昭和十一年 夏の宣伝 狸小路聯合                  | 1935年～36年       |                | モノクロ         | 05:21          |
| 2   | 166224 | 道南の旅 忘れ得ぬ修学旅行の楽しき思い出                              | 1938年6月30日～7月1日 | 菱昌七            | モノクロ         | 18:46          |
| 3   | 166198 | 〔銭函海水浴／中村一家と植物園〕                                  | (1939年／1936年)   |                | カラー／モノクロ     | 04:40<br>02:20 |
| 4   | 166201 | 盛況を極めた真駒内親桜大会 主催札幌著名専門店会                          | (1939年5月)       |                | モノクロ         | 02:48          |
| 5   | 166200 | 〔十万坪葡萄採り〕                                         | (1939年)         |                | モノクロ         | 05:47          |
| 6   | 166216 | 〔簾舞ダム周辺散歩〕                                        | (1942年)         |                | モノクロ         | 03:17          |
| 7   | 166180 | 狸小路四丁目 町内懇親会 於定山溪                                 | (昭和戦前期)         |                | モノクロ         | 08:00          |
| 8   | 166188 | 〔公区運動会〕                                           | (昭和戦前期)         |                | モノクロ         | 10:34          |
| 9   | 166213 | 〔北海道鮭鱒孵化場と支笏湖〕                                    | (昭和戦前期)         |                | モノクロ         | 10:52          |
| 10  | 166189 | 幌西小学校 春の運動会 坂下グラウンド                               | 1950年6月11日      |                | モノクロ         | 10:08          |
| 11  | 166196 | ①札幌のメーデー／②〔釈尊降誕花まつり〕／③写真の日撮影大会                    | 1950年～51年       |                | カラー          | 11:14          |
| 12  | 166212 | さっぽろのおまつり                                         | 1952年～53年       |                | カラー          | 04:40          |
| 13  | 166206 | 〔第4回さっぽろ雪まつり ※編集:菱昌七、製作:ダイヤ写真商会〕                  | (1953年2月)       | 佐藤文雄・菱昌一       | モノクロ         | 07:57          |
| 14  | 166214 | 水公園家族ハイキング                                        | 1955年5月29日      |                | モノクロ         | 06:18          |
| 15  | 166215 | 師走から新春へ                                           | (1955年～56年)     | 佐々木卓           | カラー          | 05:00          |
| 16  | 166229 | 〔①ダイヤ商会主催 松田武雄氏のシナリオによる「緑の牧場」の撮影会／②緑の牧場／③祭りの屋台ほか〕 | 1956年7月1日〔ほか〕   | ②菱貞夫・菱佳春       | モノクロ／カラー／カラー | 23:44          |
| 17  | 166220 | 〔中小企業振起大会 中政連札幌支部第2回定期大会〕                         | (1956年以降)10月15日 |                | モノクロ         | 07:08          |
| 18  | 166207 | 〔第8回さっぽろ雪まつり〕                                     | (1957年2月)       | (菱佳春・佐々木卓・中村駿) | モノクロ         | 12:59          |
| 19  | 166183 | 昭和新山 ※製作:陵提風                                      | 1957年           |                | カラー          | 08:24          |
| 20  | 166208 | 昭和32年度第1回さくら8mmシネコンテスト入選 雪だるま ※製作:菱貞夫・菱佳春         | 1957年           |                | モノクロ         | 10:40          |
| 21  | 166209 | 〔菱家の餅つきほか〕                                        | (1957年12月)      |                | モノクロ         | 07:22          |
| 22  | 166204 | 〔シネコン試写 昭和新山〕                                     | (1957年以降)       |                | モノクロ         | 03:37          |
| 23  | 166210 | 第9回札幌雪まつり 東京ミスさくら撮影会                              | 1958年2月8日・9日    | ダイヤ商会          | モノクロ         | 07:11          |
| 24  | 166187 | 第9回札幌雪まつり 冬の女王撮影会                                 | 1958年2月9日       |                | カラー          | 04:10          |
| 25  | 166211 | 定山溪ハイキング                                          | (1958年6月29日)    |                | カラー          | 06:18          |
| 26  | 166223 | 〔北海道大博覧会〕                                         | (1958年7月～8月)    |                | カラー          | 14:19          |
| 27  | 166219 | 〔リンゴ園〕                                            | (1958年秋)        |                | カラー          | 04:27          |
| 28  | 166185 | ハイキング〔藻岩山ロープウェー〕                                  | (1959年11月1日)    |                | モノクロ         | 03:31          |
| 29  | 166222 | 公園に遊ぶ                                             | 1962年10月14日     |                | モノクロ         | 08:52          |
| 30  | 166202 | 〔第34回宮様スキー大会国際競技会〕                                | (1963年3月3日)     |                | カラー          | 04:38          |
| 31  | 166225 | ホクレンビデオアルバム 札幌支店開設 ※製作:北海道AV協会                    | 1973年4月12日      |                | カラー          | 17:33          |
| 32  | 166203 | 〔札幌市内中心部・地下鉄南北線・真駒内屋外競技場〕                         | (1970年代頃)       |                | カラー          | 07:08          |
| 33  | 166181 | 銀座のひとと夜                                           | (昭和戦後期)         |                | カラー          | 05:14          |
| 34  | 166182 | 秋を探ねて〔山の会ハイキング 吉田養鯉園〕                             | (昭和戦後期)         |                | モノクロ         | 06:23          |
| 35  | 166184 | 支笏湖探勝                                             | (昭和戦後期)         | 菱昌七            | カラー          | —              |
| 36  | 166186 | 〔①水公園 丸美養鯉場／②後半石狩での地引き網漁〕                         | (昭和戦後期)         |                | カラー          | 03:02          |
| 37  | 166190 | 官幣大社札幌神社 御神田 奉仕北海道興農公社                            | (昭和戦後期)         |                | モノクロ         | 06:49          |
| 38  | 166191 | 札幌神社御神田 抜穂祭り 奉仕北海道興農公社                            | (昭和戦後期)         | 菱昌七            | モノクロ         | 10:18          |
| 39  | 166218 | 〔藻岩山ロープウェー〕                                       | (昭和戦後期)         |                | カラー          | 04:26          |
| 40  | 166221 | 〔スキーほか〕                                           | (昭和戦後期)         |                | モノクロ         | 07:09          |
| 41  | 166226 | 道南の旅 洞爺湖 ※製作:道央自動車株式会社                            | (昭和戦後期)         |                | カラー          | 20:51          |
| 42  | 166227 | 道南の旅 海の港空の港 苫小牧・千才・支笏湖 ※製作:道央自動車株式会社              | (昭和戦後期)         |                | カラー          | 22:22          |
| 43  | 166228 | 道南の旅 登別とアイヌ部落 ※製作:道央自動車株式会社                       | (昭和戦後期)         |                | カラー          | 24:12          |
| 44  | 166192 | 〔山の会 藤の沢スキー講習会〕                                   | (昭和期)           |                | モノクロ         | 07:25          |
| 45  | 166193 | 〔①冬山・藤の沢春香山の下り／②後半回転競技・大倉山ジャンプ競技〕                 | (昭和期)           |                | モノクロ         | 20:10          |
| 46  | 166194 | 〔札幌岳下り〕                                           | (昭和期)           |                | カラー          | —              |
| 47  | 166195 | 〔十勝岳冬山〕                                           | (昭和期)           |                | カラー          | —              |
| 48  | 166199 | 〔山の会 秋のハイキング〕                                     | (昭和期)           |                | モノクロ         | 06:03          |
| 49  | 166205 | 楽しき冬の郊外                                           | (昭和期)           |                | モノクロ         | 05:52          |
| 50  | 166217 | 家庭日記〔円山の家／大掃除記録〕                                  | (昭和期)           |                | モノクロ         | 07:36          |
|     | 参考     | オタモイ 小樽名所                                         | (1937年頃)        |                | モノクロ         | 08:46          |
|     | 参考     | 〔高岡公園・高岡善興寺〕                                      | (1940年4月)       |                | モノクロ         | 06:43          |
|     | 参考     | 高岡祭り                                              | (昭和戦前期)         | 菱昌七            | モノクロ         | 09:48          |

注1:「撮影者」欄には映像中などに明記されている人名を記した。空欄のものについては、大半は菱昌七による撮影と考えられる。

注2:「参考」とした3件はデジタルデータのみ所蔵。生まれ故郷・富山県の高岡市に帰省した際の映像2件と、小樽のオタモイ遊園地を観光した際の映像1件である。前者は、ケーブルテレビふるさと映像文庫『高岡御山山祭 1940年の映像を読み解く』(高岡ケーブルテレビネットワーク、2016年)で紹介され、後者は、フィルムは小樽市総合博物館所蔵で、同館紀要第28号(2015年)所収の山本侑奈「オタモイ遊園地の史的探究」で取り上げられている。なお、ネガフィルムアルバム所収の昭和戦前期の写真は、北海道博物館総合展示第4テーマの展示のほか、北海道新聞社編『写真で見るあの日の札幌2 暮らし編』(北海道新聞社、2018年)で紹介されている。

雪まつり(No.13・18・23・24)など、札幌における年中行事の様子を収めた映像もあります。

菱家のホームムービーは、1930年代

から50年代の札幌における生活文化の様相を、菱家の経験を通じて具体的に知り得る、貴重な史料と言えます。

なお、これらの映像の大半は、デジ

タル化を行っています。閲覧を希望される場合は、北海道博物館までお問い合わせください。



左／写真3 別表No.8より

右／写真4 別表No.50より

**総合展示室 活動報告**

# 楽しい『昆虫クイズラリー』に挑戦！

折 館 里 佳

解説員

第8回特別展「世界の昆虫」に合わせて、『総合展示室』では、「昆虫クイズラリー」を開催しました。展示室内の4カ所に《クイズポイント》を設置して来館した方々に参加してもらいました。

クイズポイントでは、この中で「昆虫はどれ？」「昆虫が食べるものは？」と子どもも大人もとても真剣に挑戦していました。「うんちは虫でも食べないよ！」「毒キノコも怪しいね！」と順番にクリアして正解を見つけると、「エ～そうなの？」「やったー、当たった！」とびっくりしたり、得意気になったりしていました(写真1)。

最後のクイズポイントには《好きな昆虫・嫌いな昆虫》をその理由も添えて書いてもらうアンケートがあります。このアンケートは、来館してくれ

た全てのお客様にも見てもらえるように貼りだしました。そこには「私と同じだ！」「なんで？可愛いのに！」と



写真1 どーれだ？

色々な感想を言い合いながらとても楽しそうでした(写真2)。昆虫好きな人も、そうでない人も……今まで知らなかった虫たちの不思議や、その魅力を感じとっていただけたのではないかと思います。

「そうそう、入口のカフェには《昆虫食》も販売されていましたよ…。」美味しくいただきましたでしょうか？……。



写真2 ダンゴムシが好き！

**第3回蔵出し展・開催予告**

## 久保寺逸彦文庫

### —アイヌ文学研究者による調査と資料をとおして、時代をさぐる—

アイヌ文学をはじめアイヌ文化の研究に大きな足跡を遺した久保寺逸彦(1902～1971)は、基礎的な資料の集積と整理に努力を傾注しました。

遺された資料のほとんどは、ご遺族の意思により当館に寄贈されています。1930年代にアイヌ語を録音した541枚ものレコード盤をはじめ、300冊を超える筆録ノート、同じく300冊を超えるガラス乾板写真、さらに録画フィルム、民具、単語カード、図書など、総計で約7,000件に及びます。

\* \* \*

昨年・2021年に久保寺の没後50年をむかえ、著作集全4巻がようやく完結した機会をとらえ、当館の蔵出し展として、これらの資料の全貌を紹介する展示会を開催いたします。

展示では、先ずこれらの資料をすべ

て展示室内に配置し、久保寺の足跡や資料の概要を紹介しつつ、特徴ある資料については個別に取り上げ、その特色や成り

立ち、他の資料との関連などを解説します。

\* \* \*

研究者の事跡と、集められ・遺された資料については、あわせて、その調査もまたアイヌ文化をとりまく時代の中にあつたことを、つねに意識しておきたいと思っています。この展示では、そうした時代の背景を探ること、さらに、もっぱら調査の“協力者”と位置づけられがちな、資料を語り遺した



いま総合展示で紹介している、レコード盤、マイク、筆録ノートなど

人々とその社会から調査を見直すことを通して、遺された資料とその足跡の意義を考えていきます。

ぜひ皆様にご来場いただきたく、いま開会に向けた準備を進めています。

**【会期】**

2022(令和4)年10月29日(土)～

2023(令和5)年1月15日(日)

**【会場】北海道博物館 特別展示室**

(アイヌ民族文化研究センター長

小川 正人)



アイヌ民族文化研究センターだより

## アイヌ文化巡回展

## 釧路町で開催しました(9月)／伊達市で開催中です(9月～11月)

当館が毎年道内各地で開催している「アイヌ文化巡回展」。

この秋も「地名」をテーマに、アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏(1899～1992)の資料を紹介する内容で、釧路町で開催しています。

\* \* \* \* \*

## ■第12回アイヌ文化巡回展

(終了しました)

釧路町公民館でアイヌ民族文化祭が行われることに合わせて開催しました。「アイヌ語地名を歩く ～山田秀三の地名研究から～」 2022 釧路町

会期：令和4(2022)年9月3日(土)

会場：釧路町公民館

(釧路郡釧路町河畔7丁目52-1)

山田秀三氏が釧路地方の地名を調査

したときの資料から、釧路町付近の地名を中心にパネルにして展示しました。

\* \*

今年度はもう1ヶ所で、アイヌ文化巡回展を開催しています。

こちらは、伊達市にある、だて歴史文化ミュージア

ムの特別展「アイヌ語地名を歩く ～山田秀三の地名研究から～」を、当館との共催で北海道博物館の第13回アイヌ文化巡回展としても開催させていただいているものです。

山田秀三氏が行った地名調査の方法などについて紹介しているほか、山田



1973(昭和48)年に、山田秀三氏が伊達周辺の地名調査を行ったときの記録をまとめたファイルから、若生(伊達市)のページ。



秀三氏の地名調査資料としては、1955(昭和30)年に伊達・有珠付近を調査したときの記録と、1973(昭和48)年に伊達・有珠を調査したときの記録を中心に、伊達市周辺の地域に関する資料を、実物資料もあわせて展示しています。

\* \* \* \* \*

■第13回アイヌ文化巡回展、だて歴史文化ミュージアム特別展「アイヌ語地名を歩く ～山田秀三の地名研究から～」

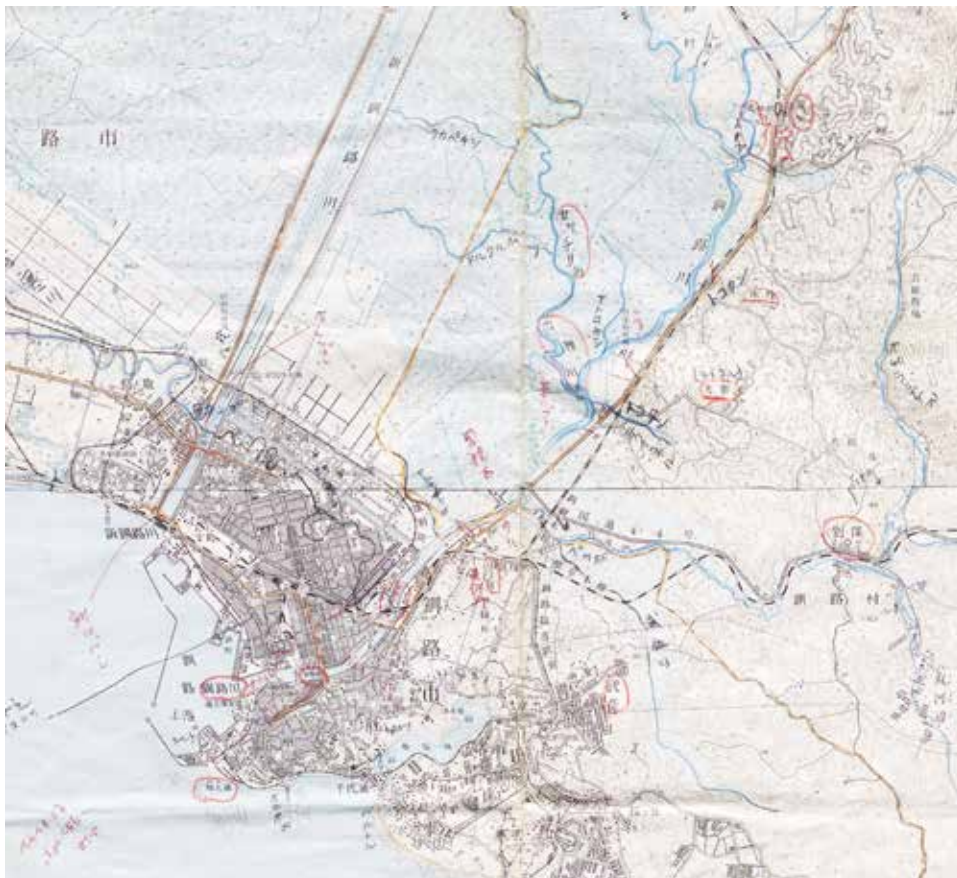
会期：令和4(2022)年9月17日(土)から11月27日(日)まで

会場：だて歴史文化ミュージアム 2階特別展示室  
(伊達市梅本町57番地1)

開館時間：9:00～17:00

休館日：月曜日(ただし祝休日  
に当たる場合はその翌日)

(アイヌ民族文化研究センター  
遠藤志保)



山田秀三氏の資料から。1970(昭和45)年に釧路周辺の地名調査を行った際に用いた地図(一部)。

## 活動ダイアリー

## 2022年6月～2022年8月の記録

※■は展示活動、■は教育普及活動、■はその他の博物館活動です。

6月12日(日)

■「ちゃれんがワークショップ「北海道の林業と建築の道具—スケッチをしてみよう!」を開催。担当：青柳かつら・鈴木明世



6月17日(金)

■総合展示クローズアップ展示、1テーマを展示入替(8月11日まで展示)。

- ①「『蝦夷風俗十二ヶ月屏風』を読む(左隻：7～12月)」
- ②「生誕200年 絵師・平沢屏山」

6月18日(土)

■自然観察会「初夏の森で花をさがそう」(北海道フラワーゾーン連携企画)を開催。担当：水島未記・堀繁久・表深太・鈴木あすみ、自然ふれあい交流館スタッフ

■連続講座「ちゃれんが古文書クラブ③」を開催。担当：三浦泰之・東俊佑

6月25日(土)～6月26日(日)

■特別イベント「北海道ジオパークまつり2022」を開催。担当：道内ジオパーク関係者

7月9日(土)

■連続講座「ちゃれんが古文書クラブ④」を開催。担当：三浦泰之・東俊佑

7月10日(日)

■子どもワークショップ「小さな野球盤づくり」を開催。担当：舟山直治・尾曲香織



7月23日(土)

■北海道新聞創刊80周年・UHB北海道文化放送開局50周年・北海道博物館 第8回特別展「世界の昆虫—昆虫を通して、生き物の多様性を知る—」をオープン。会場、特別展示室。会期、9月25日まで開催。



■特別展開連事業「夏休み限定! 生きた昆虫展示!」を開催。会場、記念ホール。会期、8月21日まで。



■特別展開連事業「昆虫クイズラリー」を開催。会場、総合展示室内。9月25日まで実施。

■特別展開連事業 講演会「世界の果てに昆虫を探しに」を開催。

講師：丸山宗利氏(九州大学総合研究博物館準教授)



7月24日(日)

■特別展開連事業「子ども昆虫相談室」を開催。講師：丸山宗利氏(九州大学総合研究博物館準教授)、大原昌宏氏(北海道大学総合博物館教授)、担当：堀繁久

7月30日(土)

■連続講座「ちゃれんが古文書クラブ⑤」を開催。担当：三浦泰之・東俊佑

8月7日(日)

■子どもワークショップ「アイヌ音楽 うたって・おどって・ならして」を開催。講師：スルフ&トノト、担当：甲地利恵



8月12日(金)

■総合展示クローズアップ展示、1～2テーマを展示入替。

- ①「『蝦夷風俗十二ヶ月屏風』を読む(右隻：1～6月)」
- ②「北海道開拓にゆかりの歴史資料たち」
- ③「受け継がれる手芸 二風谷の工芸品」
- ④「新しく仲間入りした生活・産業資料たち」

8月13日(土)

■特別展開連事業 夏休みワークショップ「切り絵で立体昆虫をつくろう」を開催。

講師：佐藤隆之氏(美術家・立体切り紙作家)



8月14日(日)

■子どもワークショップ「羊毛フェルトの昆虫ストラップ」を開催。担当：会田理人・堀繁久



8月20日(土)

■子どもワークショップ「草原の主・トノサマバッタをさがそう」を開催。担当：堀繁久・水島未記・表深太・鈴木あすみ、自然ふれあい交流館スタッフ

■連続講座「ちゃれんが古文書クラブ⑥」を開催。担当：三浦泰之・東俊佑

8月28日(日)

■子どもワークショップ「やってみよう、ステんシル!」を開催。担当：会田理人



写真1 総合展示クローズアップ展示②



写真2 総合展示クローズアップ展示④

## 来館者数

○2022年6月～8月

総合展示室 57,380人 特別展示室 58,514人 はっけん広場 0人

○累計(2015年4月～2022年8月)

総合展示室 663,888人 特別展示室 481,035人 はっけん広場 120,784人

## 森のちゃれんがニュース 第29号

発行日：2022年9月30日

編集・発行：北海道博物館

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2

Tel. (011) 898-0456 Fax. (011) 898-2657

ウェブサイト <https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>

©Hokkaido Museum, 2022